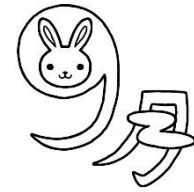


かなりやぐみだよ

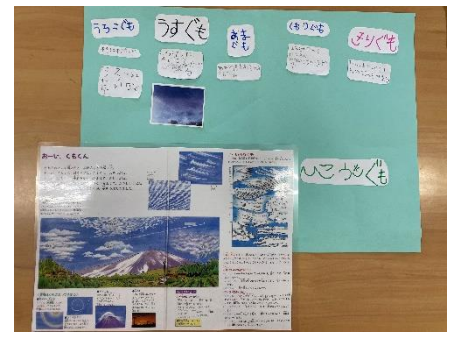
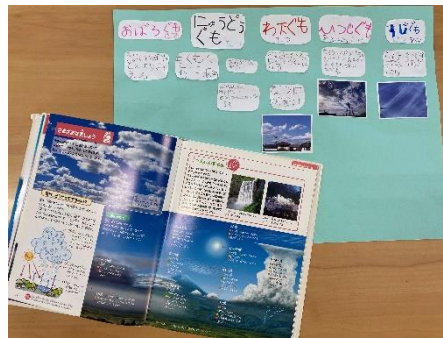


朝夕の心地よい風に秋の気配を感じるこの頃、いつの間にかセミの声がコオロギの鳴き声へとかわり、辺りにはトンボが飛び交うようになりました。クラスでは、『とんぼのめがね』の歌を歌いながら、トンボになりきって飛ぶ表現を楽しんでいます。「トンボって羽をバタバタさせながら止まるんやで!」「飛ぶのが速いトンボもおる!」と気づいたことを伝えあう姿も見られます。身近な自然に触れながら遊んでいきたいと思えます。



青い空を見上げてみよう!!

8月の終わり、かなりやぐみの窓からふと空を見上げてみると、もくもくと白く大きな雲を見つけました。「うわあ!もくもくしてる!」「わたがしみたいで美味しそう~!」「なんかイルカの形に見えるで!」とそれぞれが見て感じたことを伝え合っていました。すると年長児のA君が「入道雲って言うんやで!」と雲の名前を教えてくださいました。雲の名前が分かったことでより興味を持った子どもたちは、「入道雲ってすごいなあ!」「他にもいろんな形に見えるやつ探そう!」と雲探しが始まりました。最初は入道雲の形に注目していた子どもたちでしたが、9月に入り台風の翌日の雲を撮影してくれてきたB君の写真を見てみると、「あれ?もくもくしてない...!」「雲がバラバラしてるなあ」といつもと雲の形が違うことに気がつきました。そこで、クラスにあった自然の図鑑を見てみると、雲にはそれぞれ名前があることが分かりました。年長児を中心に、図鑑や絵本を見ながらそれぞれの雲の特徴を書いたり、実際に自分たちが見て感じたことを書いたりして、雲の種類が分かる表を作成しました。「入道雲は夏にできるんやって!」「うろこぐもは秋って書いてるで?」「じゃあうろこぐもがあるからもう秋になったんやなあ!」と雲の変化から季節の移り変わりを感ずることができたようでした。ぜひ子どもたちと一緒に雲を見て、秋の空を感じてみてください。



- ・毎日ハンカチをポケットに入れて持って来てください。
(名前が消えていないか確認をお願いします。)
- ・汗をかいて着替えを持ち帰った日は、翌日補充をお願いします。

